

SAK だより

Ski Association of Kanagawa

(財) 神奈川県スキー連盟

横浜市神奈川区台町16-1 ソレイユ台町407号室
 電話 045 (311) 8907 FAX 045 (324) 6966
 ●発行者: 片 忠夫 ●編集責任: 徳本 進
<http://www.sak.or.jp/>

今年度の 行事執行は75点

今年度の行事執行について片専務理事に評価を伺いました。「総じて前向きに取り組んでおり、前進が見られたものの、一部で課題を積み残した。『なごやかさ』、『さわやかさ』の下に活動したが、会員減、コミュニケーション不足などマイナス点があった」と総合で75点と評価しました。

● 片専務理事に聞く ●

競技本部は、なごやかさ、さわやかさという点で、地元の新潟の関係者とともに、大会運営等、非常にスムーズにできました。ジュニア強化では、大きな前進があり、来シーズンに向けて体系化の方向性が見えてきました。冠大会には、キャタピラー三菱さんとトールさんが協賛してくれたことで、充実した運営が可能になり、資金源が増え、誠に喜ばしい限りです。

教育本部は、各事業単位としては、運営がうまくいき、参加者には満足してもらえたようですが、理事間や専門委員との関係ではさわやかではなく、厳しい現実があったようです。千葉と共同開催の技術選手権や環富士山の大会は内容的に充実してきましたし、全日本技術選手権は成績がよくなかったのですが、強化委員会の委員長以下、過程を重視してよくやったと思っています。さらに強化を進める方針です。総務本部は、協賛会員の拡大や個人情報保護法への対応など、非常によくやっているといます。一方で、一般登録会員が200人余り減少し財政面を圧迫しています。行事に参加する役員・講師の数を調整するなど懸命の経費削減に努めました。今後も、さらに経費削減に努めます。

特別寄稿

指導員研修会inドラゴンバレー

深沢啓子

「冬ソナ」探し一色の韓国行事の中で、指導員研修会班は、なんと!山田副会長を担当講師に、2日間この静かなリゾート地を爆走しました。絶好のスキー日和、観光客がグレンデ内のあの二人の等身大パネルに群がる様子を横目に、わがチームは黄色のウェアに続いて滑り降りる。コースはよく整備されて堅く締まったバーン。紅一点の私を、素敵?いや不敵な笑顔で待っている山田先生。またすぐトレンは出発。「いったい『二軸理論』はどこに落ちているの?」昼食はグレンデ内でイタリアン。にわかハングルでピザとパスタをゲット!午後また、風切って、初日から足腰グラグラ。

翌朝先生が「おはよう!」の声と再び不安を予期させる笑顔で登場。思わず空を見上げる。「あ〜、恨めしくいい天気・・・」尾根を隔てたコースでは6人乗りリフトを初体験。今日は全コース走破?らしい。大会が終わって開放された不気味な急斜面にもチャレンジ。心身ともに疲れ果て、涙でゴーグルを濡らして研修会は終了。この研修会は国内よりハードだった。しかも二軸理論は「未熟理論」のまま。でもチーム山田のトレンの末席を汚した誇りを大切に胸にしまっておこう。



スノーボードは、ライセンス取得の整備が進み、積極的に事業を展開しています。課題はあるものの、前進しています。



ハンディキャップ委員会は、障害者が参加できる行事すべてに手話通訳をつけられるような体制作りを考えていきます。

韓国ツアーについては、指導員会と共催でしたが、楽しく、さわやかに行えたと思います。ここしばらくは継続して開催したいと思います。なごやか、さわやかという点で最もよかった行事と認識しています。

全体を通しての評価は、会員減、コミュニケーション不足などを減点して、100点満点で75点ぐらいでしょうか。

第60回国民体育大会 冬季大会 (岩手りんどう国体)

本県からは総勢44人の選手が参加。

2月22日(火)〜25(金)、第60回国民体育大会冬季大会(岩手りんどう国体)が開催された。岩手県での国体開催は7年ぶり3度目。参加総数約2200人、神奈川県からは碓井団長をはじめ、総勢44人の選手団が参加した。

◆ジャイアントスラローム成年男子A
水口朋哉選手は21位。「絶対ゴールしたい」という気持ちで成績に反映した。

◆クロスカントリー成年男子B
「参加10回記念の大会とします」と意欲满满で臨んだ縄田尊司選手は10位と大健闘。伊藤雅史選手は19位、渋谷悟選手は21位。初参加の関原孝雄選手は22位、樋口清浩選手は34位。ゼッケンの若い選手の頑張りに期待したい。

◆クロスカントリー成年女子B
期待の2選手、渡辺幸子選手は11位、沖崎ゆかり選手は12位。惜しくも入賞を逃した。

◆ジャイアントスラローム成年女子A
山下美幸選手は28位。「悪い癖が出てしまった」と反省の弁。今季インカレスラローム3位の実績を持つ服部七穂選手と与口華那選手は同タイムで19位。

◆ジャイアントスラローム成年男子C
早いゼッケンで強豪のひしめく中、比留間悟選手が11位と頑張りを見せた。

◆ジャイアントスラローム成年女子B
国体10回連続出場で56回大会では8位入賞の実績を持つ内田美穂選手は、「長いコースにやや疲れて」と言いながらも12位と上々の成績。第55回大会で5位入賞の経験を持つベテランの森川順子選手は29位。

◆ジャイアントスラローム成年男子B
昨年7位に入賞している下村泰則選手は8位。神奈川県で唯一ポイント111を獲得。

◆クロスカントリー成年男子リレー (10km×4名)
菊地将吾選手、縄田尊司選手、渋谷悟選手、伊藤雅史選手の4人が出場。スタート42番目ながら、トップと18分15秒差の20位。

◆熱い戦いは幕を閉じたが…
安代小学校体育館で行われた閉会式



で、熱い戦いの幕は閉じた。しかし、来年の国体に向けて、選手たちにはすでに新たな戦いが始まっている。

教育本部強化委員会に聞く

伊藤明子 委員長
清水 忠 担当理事

○強化委員会としての今年度の評価は？

本当にやりたいことの10%くらいしかできていないのですが、雪上での強化活動としては8割位出来たと思っています。今の選手は自らお金を出しても強くなりたいと思っています。その機会を与えるのが強化委員会の仕事です。吉野専門委員は元グラスキーの全日本選手ですし、加賀、石井両専門委員は選手としても技術を伸ばしていただけると思います。園部委員は苗場スキースクールの中心的な人物です。多彩なスタッフが集まっているのでオフの間も言めた選手強化を図りたいと考えています。

○今後の強化委員会の方針は

憧れの対象となる選手が出ればチャレンジしたいと思う人が多く出てくるはずですが、まだまだ技術選の選手は目立たないと思います。ホームページなどで、もっと露出する機会や場所を作っていきたいと考えています。(そうならば、今以上に自覚をもって成績を残したいと思うでしょう。)(SAJデモの佐藤拓也選手が、自らテクニカル・クラブの事前講習を担当してくれました。受検者からは、身近なデモに教わることでできてよかったという感想が聞かれました。いわば、選手が講師となって指導したわけです。ほかの選手からも「立場を変えて県

連の手伝いできれば」という声もある中で、そういった方向も検討して選手の活躍の場を増やしていきたいと思っています。今回、準決勝に進めなかった選手の中には、過去に準決勝進出経験のある選手が何人かいました。レベルは確かに上がっているのですが、初めて準決勝に進んだ時のような思い切りのよさが出せなかったと思います。2月の合宿では、栗野デモを招いたことが、すごくいい刺激になったようです。残念ながら、成果としては実りませんでした。必ず来年以降につながっていくと信じています。

○強化委員会としての当面の目標は

目標は、決勝進出です。今回は、準決勝進出が佐藤拓也選手1人でしたが、あと3人は準決勝に進めたのでは？と思います。今年学連から出た三星雄大・眞奈美両選手には、どのような感想を持ったか聞きたいと思っています。かつて伊藤敦デモが、「基礎もやっていたら競技でもっと上にいったと思う」と言っていました。その逆もあると思うので、競技と基礎の交流ができれば、と思います。

○最後に

苦しいことも結果が出れば、楽しくなります。目標を定めて何をしたらいいのかを考えてトレーニングをすれば、必ず成果は出ると思います。(スキーは、最終的には個人の責任で行うものです。)(そうした意味で、私たちがコーチングの方法等を工夫していければと考えています。

韓国行事 ドラゴンバレー スキーツアー

平成17年2月3日(木)から6日(日)までの4日間、指導員会と共催で韓国ドラゴンバレースキーツアー(県民スキースクール、指導員研修会、養成講習会)を開催しました。

2月3日(木)は韓国のインチョン(仁川)経由でヨンピョン(竜平)リゾートに移動。

2月4日(金)は、素晴らしい天気にも恵まれ、片専務理事、水島指導員会長の挨拶の後、全員そろってゴンドラに乗り山頂に向かいました。標高1,458mのパルワン山頂では、ユジンとミニヨンの等身大のパネルがあり、その前に写真の行列が出来てしまいました。緩斜面の林道ですが、770



mもあり、滑り応えのあるレインボーパラダイス、午後は、レッドコースや、乗ってみるとクッションが効いていて、とても快適な6人乗りのリフトがあるゴールドコースを滑りました。

2月5日(土)は、スキー組とオープンショナルツアー組に分かれました。

このツアーには10名が参加し、「冬のソナタ」のオープニングに流れる、カン・ジュンサンとチョン・ユジンが雪の中で雪だるまを作ったりした場所があるナミソン、「冬のソナタ」の舞台となったチュンチョン(春川)に向かいました。明洞市場通りでは、ガイドと交渉し、見学のポイントを追加してもらい、「冬ソナ」後半の思い出の旅でユジンが缶コーヒーを買った場所、チュンサンがラーメンを食べたお店、ユジンのお母さんのお店、チュンサン

の家などを見て回りました。

2月6日(日)はスキーと「冬ソナ」観光も終了。朝、バスでソウルへ向かい、ここで観光&ショッピングをしてから、無事帰国しました。

ハンディキャップ 委員会報告 渡辺 智文

最初に会員の皆さまには、今年度協賛金のご協力いただきましたこと、各行事の中でボランティア参加していただいた皆様方にお礼申し上げます。

お陰様で障害者関係の行事も、無事終了できましたことをご報告申し上げます。

さて、神奈川県スキー連盟が「障害者の方達がスキーに参加できる行事」を提供して5シーズン目になります。

現在行事はシーズン2回の「スキー教室」と競技では「チャレンジカップ」です。その他でも幾つかの競技行事で障害者の参加が可能となっております。

私たち県連が全国に先駆けて、それを実行していることは障害者

ツアー全体としては、スキー環境が非常に良好で、グレンデ、施設、接客等申し分なく、来年度に向けても、再度開催を検討したいとの結論を得ました。

の方達にとって希少的存在です。従って、行事ではかなり遠方の県外からも参加される方がおります。一方、私たちも障害者の方達に接することによって逆に教えられることも多くあります。

今後の課題ですが、現在は障害の範囲を「知的」「聴覚」「下肢障害」とし、障害のレベルは比較的軽度の方を対象としております。

また、参加される障害者は県連関係団体からの方が中心でしたが、最近ではHPなどで知って参加される方も増えております。

障害者全般の受け入れをどこまで可能にするか明確にする必要があります。今後さらに受け入れ枠を広げていくなら、ある程度障害に関する知識をもった指導員の養成も必要でしょう。

今後皆さまのご理解とご協力を得ながら、さらに障害者の方達と共に、スキーを楽しむ環境作りに努めていきたいと考えております。

- 4位 田中 祐介(石川県)
- 1位 ハンディキャップ(D)ウニム()
- 2位 高橋 勉(横浜)
- 3位 岸本千太郎(川崎)
- 4位 井口 修良(東京)
- 5位 木村 高秀(個人)
- 「チルドレン」
- 1位 武田 康平(厚木)
- 「オプン」(成年A)
- 1位 滝本 淳志(東京都)
- 「オプン」(成年C)
- 1位 高橋 清勝(厚木SC)
- 2位 松井 隆一(川崎)
- 「男子一般」
- 1位 小島 久典(FED-B)
- 2位 長野 浩朗(東京)
- 3位 横濱スキークラブ
- 4位 山上 誠英(テレポート)
- 5位 山浦 研治(東洋英和)
- 6位 尾花 研(東洋英和)
- 女子回転
- 「ハンディキャップ」
- 1位 河野()
- 「チルドレン」
- 1位 横野 真悠(川崎)
- 「オプン」(成年B)
- 1位 大井 智子(東京都)
- 「女子一般」
- 1位 鹿野亜季子(横浜スキークラブ)
- 2位 佐藤 由美(厚木)
- 3位 齋藤 広志(アールベルグ)
- 4位 小林明也香(桐蔭学園高校)
- 5位 石井玲央香(アガバSC)
- 6位 大久保成子(アガバSC)
- 男子大回転
- 「ハンディキャップ(L)ウニム()」
- 1位 丸山 英年(兵庫県)
- 2位 井上 靖(小田原)
- 3位 木の本達也(個人)
- 「ハンディキャップ(D)ウニム()」
- 1位 川俣 一利(埼玉)
- 「チルドレン」
- 1位 曾根原遼太(厚木)
- 2位 武田 康平(厚木)
- 「オプン」(成年C)
- 1位 堀ノ内 徹(茨城県)
- 2位 徳本 進(横浜)
- 3位 瀧美 直哉(東京都)
- 4位 小泉 雄二(横浜)
- 5位 中里 弘明(横浜)
- 6位 渡辺 健二(横浜)
- 「オプン」(成年B)
- 1位 浅沼 和宏(横浜)
- 「オプン」(成年A)
- 1位 滝本 淳志(東京都)
- 「男子一般」
- 1位 市川 高広(Force)
- 2位 西 秀昭(Force)
- 3位 横橋 正峰(日立)
- 4位 尾花 研(東洋英和)
- 5位 北野 敦正(BMスキー部)
- 6位 山上 誠英(テレポート)
- 女子大回転
- 「ハンディキャップ(D)ウニム()」
- 1位 森 和代(横浜)
- 「チルドレン」
- 1位 横野 真悠(川崎)
- 「オプン」(成年B)
- 1位 大井 智子(横浜)
- 「女子一般」

- 1位 鹿野亜季子(横浜スキークラブ)
- 2位 寺嶋 陽子(テレポート)
- 3位 大久保成子(FED-B)
- 4位 小林明也香(桐蔭学園高校)
- 5位 齋藤 広志(アールベルグ)
- 6位 佐藤 由美(厚木)
- 「クラブ対抗戦」
- 男子成績
- 1位 FED-B
- 2位 東京
- 3位 日揮
- 4位 Force
- 5位 ショウナンキッズ
- 6位 テレポート
- 女子成績
- 1位 FED-B
- 2位 アガバSC
- 3位 横浜スキークラブ
- 4位 横濱アパルタ
- 5位 富士通
- 6位 アールベルグ
- 第3回神奈川県マスターズ選手権大会
- 日時/平成17年1月28日(金)~30日(日)
- 場所/長野県岩田スキー場
- 男子回転
- 「マスターズ(65~69歳)」
- 1位 安田 佳翁(アガバSC)
- 「マスターズ(55~59歳)」
- 1位 石井 博(アガバSC)
- 「マスターズ(45~49歳)」
- 1位 奥 節哉(日本アビオニク)
- 「マスターズ(35~39歳)」
- 1位 鈴木 浩(三菱重工相模)
- 2位 高橋進一郎(三菱重工相模)
- 男子大回転
- 「マスターズ(70~74歳)」
- 1位 野村 五郎(川崎SC)
- 2位 角田 高(相模原)
- 「マスターズ(65~69歳)」
- 1位 毛利 雄邦(横浜スポーツマン)
- 2位 安田 佳翁(アガバSC)
- 3位 古城 保和(相模原)
- 「マスターズ(60~64歳)」
- 1位 松井 隆一(川崎SC)
- 2位 金子 幸輔(白銀SC)
- 「マスターズ(55~59歳)」
- 1位 栗野 清道(日立小田原)
- 2位 石井 博(アガバSC)
- 「マスターズ(45~49歳)」
- 1位 奥 節哉(日本アビオニク)
- 「マスターズ(45~49歳)」
- 1位 鈴木 浩(三菱重工相模)
- 2位 高橋進一郎(三菱重工相模)
- 女子回転
- 「女子成年D」
- 1位 高岸 浩司(横浜)
- 2位 田中 誠典(開成)
- 3位 松原 誠典(相模原)
- 4位 木村 徳善(小田原)
- 5位 細川 弘幸(大和市)
- 6位 笠谷 慶一(川崎)
- 「男子成年C」
- 1位 山崎 孝広(相模原)
- 2位 橋川 康宏(相模原)
- 3位 日揮 壮一(相模原)
- 4位 馬場 義典(横浜)
- 5位 井筒 義典(逗子)
- 6位 星 良夫(愛川)
- 「男子成年B」
- 1位 高岸 浩司(横浜)
- 2位 上藤 直俊(厚木)
- 3位 山崎 誠英(相模原)
- 4位 坂本 弘(相模原)
- 5位 土屋 祐一(相模原)
- 6位 佐藤 弘人(横浜)
- 「男子成年A」
- 1位 角田 昌紀(川崎)
- 2位 畑田 敏(大和市)
- 3位 和田 達也(相模原)
- 4位 関 伸奉(城山)
- 5位 岩崎 圭(横浜)
- 6位 井上 伸裕(厚木)
- 大回転競技
- 「女子成年D」
- 1位 高岸 浩司(横浜)
- 2位 田中 誠典(開成)
- 3位 松原 誠典(相模原)
- 4位 木村 徳善(小田原)
- 5位 細川 弘幸(大和市)
- 6位 笠谷 慶一(川崎)
- 「男子成年C」
- 1位 山崎 孝広(相模原)
- 2位 橋川 康宏(相模原)
- 3位 日揮 壮一(相模原)
- 4位 馬場 義典(横浜)
- 5位 井筒 義典(逗子)
- 6位 星 良夫(愛川)
- 「男子成年B」
- 1位 高岸 浩司(横浜)
- 2位 上藤 直俊(厚木)
- 3位 山崎 誠英(相模原)
- 4位 坂本 弘(相模原)
- 5位 土屋 祐一(相模原)
- 6位 佐藤 弘人(横浜)
- 「男子成年A」
- 1位 角田 昌紀(川崎)
- 2位 畑田 敏(大和市)
- 3位 和田 達也(相模原)
- 4位 関 伸奉(城山)
- 5位 岩崎 圭(横浜)
- 6位 井上 伸裕(厚木)
- クロスカントリー
- 「成年D 20kmクラシカル」
- 1位 竹内 新一(相模原)
- 2位 松浦 光平(座間)
- 3位 高橋 文三(川崎)
- 4位 草野 純也(横浜)
- 5位 和久 茂平(厚木)
- 6位 中野 武(大和市)
- 「成年C 20kmクラシカル」
- 1位 木村 謙希(厚木)
- 2位 鈴木 孝一(厚木)
- 3位 坂下 誠光(相模原)
- 4位 谷井 史郎(相模原)
- 5位 田部 光則(相模原)
- 6位 桐生 武(大和市)
- 「成年B 40kmクラシカル」
- 1位 成井 啓明(相模原)
- 2位 藤田 修司(相模原)
- 3位 野元 和久(相模原)
- 4位 伊藤 守(横浜)
- 5位 藤田 守(川崎)
- 6位 辻 春美(横浜)
- 「成年A 40kmクラシカル」
- 1位 萩野 隆介(相模原)
- 2位 北原 英治(横浜)
- 3位 木幡 好光(鎌倉)
- 4位 関 真人(相模原)
- 5位 古岡 広充(横浜)
- 6位 井上 伸裕(厚木)
- 「男子 3x20kmフリー」
- 1位 横須賀市
- 2位 横須賀市
- 3位 相模原市
- 4位 厚木市
- 5位 相模原市
- 6位 座間市
- 団体総合成績
- 優勝 相模原市
- 準優勝 相模原市
- 3位 相模原市
- 4位 相模原市
- 5位 相模原市
- 6位 相模原市
- 優勝 藤野町

- 1位 高岸 浩司(横浜)
- 2位 田中 誠典(開成)
- 3位 松原 誠典(相模原)
- 4位 木村 徳善(小田原)
- 5位 細川 弘幸(大和市)
- 6位 笠谷 慶一(川崎)
- 「男子成年C」
- 1位 山崎 孝広(相模原)
- 2位 橋川 康宏(相模原)
- 3位 日揮 壮一(相模原)
- 4位 馬場 義典(横浜)
- 5位 井筒 義典(逗子)
- 6位 星 良夫(愛川)
- 「男子成年B」
- 1位 高岸 浩司(横浜)
- 2位 上藤 直俊(厚木)
- 3位 山崎 誠英(相模原)
- 4位 坂本 弘(相模原)
- 5位 土屋 祐一(相模原)
- 6位 佐藤 弘人(横浜)
- 「男子成年A」
- 1位 角田 昌紀(川崎)
- 2位 畑田 敏(大和市)
- 3位 和田 達也(相模原)
- 4位 関 伸奉(城山)
- 5位 岩崎 圭(横浜)
- 6位 井上 伸裕(厚木)
- クロスカントリー
- 「成年D 20kmクラシカル」
- 1位 竹内 新一(相模原)
- 2位 松浦 光平(座間)
- 3位 高橋 文三(川崎)
- 4位 草野 純也(横浜)
- 5位 和久 茂平(厚木)
- 6位 中野 武(大和市)
- 「成年C 20kmクラシカル」
- 1位 木村 謙希(厚木)
- 2位 鈴木 孝一(厚木)
- 3位 坂下 誠光(相模原)
- 4位 谷井 史郎(相模原)
- 5位 田部 光則(相模原)
- 6位 桐生 武(大和市)
- 「成年B 40kmクラシカル」
- 1位 成井 啓明(相模原)
- 2位 藤田 修司(相模原)
- 3位 野元 和久(相模原)
- 4位 伊藤 守(横浜)
- 5位 藤田 守(川崎)
- 6位 辻 春美(横浜)
- 「成年A 40kmクラシカル」
- 1位 萩野 隆介(相模原)
- 2位 北原 英治(横浜)
- 3位 木幡 好光(鎌倉)
- 4位 関 真人(相模原)
- 5位 古岡 広充(横浜)
- 6位 井上 伸裕(厚木)
- 「男子 3x20kmフリー」
- 1位 横須賀市
- 2位 横須賀市
- 3位 相模原市
- 4位 厚木市
- 5位 相模原市
- 6位 座間市
- 団体総合成績
- 優勝 相模原市
- 準優勝 相模原市
- 3位 相模原市
- 4位 相模原市
- 5位 相模原市
- 6位 相模原市
- 優勝 藤野町

- 1位 鈴木寿久美(横浜スポーツマン)
- 2位 小學生低学年
- 3位 神 佑助(ハイヴァント)
- 4位 木村 嘉秀(個人)
- 5位 五浦夕七(個人)
- 6位 橋本 裕(ハイヴァント)
- 「小學生低学年」
- 1位 日暮 稜(ハイヴァント)
- 2位 田所 広太(ハイヴァント)
- 3位 松坂 優磨(ハイヴァント)
- 4位 市山 義(ハイヴァント)
- 5位 武田 亮(毛利台)
- 6位 佐藤 佳秀(ハイヴァント)
- 「男子中学生」
- 1位 長岡 祐太(桑野SC)
- 2位 駒田 岳斗(ハイヴァント)
- 3位 佐野 大海(ひいたあば)
- 4位 魚野 和久(ハイヴァント)
- 5位 東塚吉之助(ハイヴァント)
- 6位 中村 元起(桐光学園中学)
- 「少年男子」
- 1位 坂本 有祐(慶應義塾高校)
- 2位 坂本 航一(光明相模原高校)
- 3位 坂本 航一(光明相模原高校)
- 4位 大久保俊吾(慶應義塾高校)
- 5位 久保俊吾(慶應義塾高校)
- 6位 阿部 洋平(慶應義塾高校)
- 「男子成年A」
- 1位 関水 文俊(横浜スキークラブ)
- 2位 恩田 真也(SCCカヌ)
- 3位 柏木 崇(湘南雪だるま)
- 4位 水野 理人(湘南雪だるま)
- 5位 小林 勇太(湘南雪だるま)
- 6位 小野 理人(湘南雪だるま)
- 「男子成年B」
- 1位 青野 浩朗(東京)
- 2位 佐藤 弘人(つくぐSC)
- 3位 原田 健司(二厚木)
- 4位 高岸 浩司(関東自動車)
- 5位 坂本 正峰(日立)
- 6位 坂本 正峰(日立)
- 「男子成年C」
- 1位 山崎 孝広(SCCカヌ)
- 2位 橋川 康宏(ハイヴァント)
- 3位 篠川 竹宏(横浜スポーツマン)
- 4位 市川 房雄(アールベルグ)
- 5位 水保 浩一(産産体)
- 6位 坂本 敏成(東電相模原)
- 大回転競技
- 「小學生低学年女子」
- 1位 河合 千月(小田原スポーツマン)
- 2位 秋元 沙月(ハイヴァント)
- 3位 川本 愛理(小田原スポーツマン)
- 4位 荒井 美蘭(ハイヴァント)
- 5位 萩原 翠(ハイヴァント)
- 6位 神 麻子(ハイヴァント)
- 「女子中学生」
- 1位 山崎 麻子(ハイヴァント)
- 2位 中島 航子(二厚木)
- 3位 藤原 真由(アールベルグ)
- 4位 森川 順子(アールベルグ)
- 5位 高木 順子(アールベルグ)
- 6位 杉本 博美(アールベルグ)
- 7位 坂本千代子(富士通)

- 1位 鈴木寿久美(横浜スポーツマン)
- 2位 小學生低学年
- 3位 神 佑助(ハイヴァント)
- 4位 木村 嘉秀(個人)
- 5位 五浦夕七(個人)
- 6位 橋本 裕(ハイヴァント)
- 「小學生低学年」
- 1位 日暮 稜(ハイヴァント)
- 2位 田所 広太(ハイヴァント)
- 3位 松坂 優磨(ハイヴァント)
- 4位 市山 義(ハイヴァント)
- 5位 武田 亮(毛利台)
- 6位 佐藤 佳秀(ハイヴァント)
- 「男子中学生」
- 1位 長岡 祐太(桑野SC)
- 2位 駒田 岳斗(ハイヴァント)
- 3位 佐野 大海(ひいたあば)
- 4位 魚野 和久(ハイヴァント)
- 5位 東塚吉之助(ハイヴァント)
- 6位 中村 元起(桐光学園中学)
- 「少年男子」
- 1位 坂本 有祐(慶應義塾高校)
- 2位 坂本 航一(光明相模原高校)
- 3位 坂本 航一(光明相模原高校)
- 4位 大久保俊吾(慶應義塾高校)
- 5位 久保俊吾(慶應義塾高校)
- 6位 阿部 洋平(慶應義塾高校)
- 「男子成年A」
- 1位 関水 文俊(横浜スキークラブ)
- 2位 恩田 真也(SCCカヌ)
- 3位 柏木 崇(湘南雪だるま)
- 4位 水野 理人(湘南雪だるま)
- 5位 小林 勇太(湘南雪だるま)
- 6位 小野 理人(湘南雪だるま)
- 「男子成年B」
- 1位 青野 浩朗(東京)
- 2位 佐藤 弘人(つくぐSC)
- 3位 原田 健司(二厚木)
- 4位 高岸 浩司(関東自動車)
- 5位 坂本 正峰(日立)
- 6位 坂本 正峰(日立)
- 「男子成年C」
- 1位 山崎 孝広(SCCカヌ)
- 2位 橋川 康宏(ハイヴァント)
- 3位 篠川 竹宏(横浜スポーツマン)
- 4位 市川 房雄(アールベルグ)
- 5位 水保 浩一(産産体)
- 6位 坂本 敏成(東電相模原)
- 大回転競技
- 「小學生低学年女子」
- 1位 河合 千月(小田原スポーツマン)
- 2位 秋元 沙月(ハイヴァント)
- 3位 川本 愛理(小田原スポーツマン)
- 4位 荒井 美蘭(ハイヴァント)
- 5位 萩原 翠(ハイヴァント)
- 6位 神 麻子(ハイヴァント)
- 「女子中学生」
- 1位 山崎 麻子(ハイヴァント)
- 2位 中島 航子(二厚木)
- 3位 藤原 真由(アールベルグ)
- 4位 森川 順子(アールベルグ)
- 5位 高木 順子(アールベルグ)
- 6位 杉本 博美(アールベルグ)
- 7位 坂本千代子(富士通)

- 1位 鈴木寿久美(横浜スポーツマン)
- 2位 小學生低学年
- 3位 神 佑助(ハイヴァント)
- 4位 木村 嘉秀(個人)
- 5位 五浦夕七(個人)
- 6位 橋本 裕(ハイヴァント)
- 「小學生低学年」
- 1位 日暮 稜(ハイヴァント)
- 2位 田所 広太(ハイヴァント)
- 3位 松坂 優磨(ハイヴァント)
- 4位 市山 義(ハイヴァント)
- 5位 武田 亮(毛利台)
- 6位 佐藤 佳秀(ハイヴァント)
- 「男子中学生」
- 1位 長岡 祐太(桑野SC)
- 2位 駒田 岳斗(ハイヴァント)
- 3位 佐野 大海(ひいたあば)
- 4位 魚野 和久(ハイヴァント)
- 5位 東塚吉之助(ハイヴァント)
- 6位 中村 元起(桐光学園中学)
- 「少年男子」
- 1位 坂本 有祐(慶應義塾高校)
- 2位 坂本 航一(光明相模原高校)
- 3位 坂本 航一(光明相模原高校)
- 4位 大久保俊吾(慶應義塾高校)
- 5位 久保俊吾(慶應義塾高校)
- 6位 阿部 洋平(慶應義塾高校)
- 「男子成年A」
- 1位 関水 文俊(横浜スキークラブ)
- 2位 恩田 真也(SCCカヌ)
- 3位 柏木 崇(湘南雪だるま)
- 4位 水野 理人(湘南雪だるま)
- 5位 小林 勇太(湘南雪だるま)
- 6位 小野 理人(湘南雪だるま)
- 「男子成年B」
- 1位 青野 浩朗(東京)
- 2位 佐藤 弘人(つくぐSC)
- 3位 原田 健司(二厚木)
- 4位 高岸 浩司(関東自動車)
- 5位 坂本 正峰(日立)
- 6位 坂本 正峰(日立)
- 「男子成年C」
- 1位 山崎 孝広(SCCカヌ)
- 2位 橋川 康宏(ハイヴァント)
- 3位 篠川 竹宏(横浜スポーツマン)
- 4位 市川 房雄(アールベルグ)
- 5位 水保 浩一(産産体)
- 6位 坂本 敏成(東電相模原)
- 大回転競技
- 「小學生低学年女子」
- 1位 河合 千月(小田原スポーツマン)
- 2位 秋元 沙月(ハイヴァント)
- 3位 川本 愛理(小田原スポーツマン)
- 4位 荒井 美蘭(ハイヴァント)
- 5位 萩原 翠(ハイヴァント)
- 6位 神 麻子(ハイヴァント)
- 「女子中学生」
- 1位 山崎 麻子(ハイヴァント)
- 2位 中島 航子(二厚木)
- 3位 藤原 真由(アールベルグ)
- 4位 森川 順子(アールベルグ)
- 5位 高木 順子(アールベルグ)
- 6位 杉本 博美(アールベルグ)
- 7位 坂本千代子(富士通)

- 「男子成年B」
 - 1位 千々松 淳 (個人)
 - 2位 奥村 輝才 (個人)
 - 3位 堀内 徹夫 (個人)
 - 4位 高橋 昌也 (個人)
 - 5位 永田 洋二 (個人)
 - 6位 藤枝 選手 部
- 「男子成年C」
 - 1位 山崎 孝広 (SCカヌー)
 - 2位 高沢 一二 (アールベルグ)
 - 3位 本間 康浩 (日立小田原)
 - 4位 橋川 昭治 (リバーベント)
 - 5位 穂積 大助 (川越レーシング)
 - 6位 石塚 俊逸 (三菱電機鎌倉)
- 「男子成年A」
 - 1位 川本 利翠 (小田原スポーツマン)
 - 2位 若田 翠 (ハブアイ)
 - 3位 秋元 察月 (ハブアイ)
 - 4位 坂田 里英 (ハブアイ)
 - 5位 川本 愛理 (小田原スポーツマン)
 - 6位 三浦 奈々 (相模女子大)
- 「女子成年B」
 - 1位 市川 涼 (麻溝白高)
 - 2位 関 麻美子 (関学院高)
 - 3位 佐藤 唯 (横浜英和女学院)
 - 4位 小林明日香 (桐蔭学園高)
 - 5位 森 美波 (ハブアイ)
 - 6位 小田 彩加 (桐蔭学園中)
- 「女子成年A」
 - 1位 関 美和子 (関学院大)
 - 2位 田原 友香 (白根スノーエド)
 - 3位 菅原 綾 (相模女子大)
 - 4位 菅原 博美 (アールベルグ)
 - 5位 坂本千代子 (海上通)
 - 6位 久津輪理 (海上白根高)
- 「男子成年」
 - 1位 比留間 悟 (シヨウナンキッズ)
 - 2位 青柳 孝行 (横浜スポーツ一會)
 - 3位 岡田 慎之介 (シヨウナンキッズ)
 - 4位 渡辺 環 (浦島小)
 - 5位 金子進太郎 (シヨウナンキッズ)
 - 6位 山崎 孝広 (SCカヌー)
- 「女子成年」
 - 1位 山崎 孝広 (SCカヌー)
 - 2位 高沢 一二 (アールベルグ)
 - 3位 本間 康浩 (日立小田原)
 - 4位 橋川 昭治 (リバーベント)
 - 5位 穂積 大助 (川越レーシング)
 - 6位 石塚 俊逸 (三菱電機鎌倉)

- 「男子成年」
 - 1位 比留間 悟 (シヨウナンキッズ)
 - 2位 青柳 孝行 (横浜スポーツ一會)
 - 3位 岡田 慎之介 (シヨウナンキッズ)
 - 4位 渡辺 環 (浦島小)
 - 5位 金子進太郎 (シヨウナンキッズ)
 - 6位 山崎 孝広 (SCカヌー)
- 「女子成年」
 - 1位 山崎 孝広 (SCカヌー)
 - 2位 高沢 一二 (アールベルグ)
 - 3位 本間 康浩 (日立小田原)
 - 4位 橋川 昭治 (リバーベント)
 - 5位 穂積 大助 (川越レーシング)
 - 6位 石塚 俊逸 (三菱電機鎌倉)
- 「男子成年」
 - 1位 比留間 悟 (シヨウナンキッズ)
 - 2位 青柳 孝行 (横浜スポーツ一會)
 - 3位 岡田 慎之介 (シヨウナンキッズ)
 - 4位 渡辺 環 (浦島小)
 - 5位 金子進太郎 (シヨウナンキッズ)
 - 6位 山崎 孝広 (SCカヌー)
- 「女子成年」
 - 1位 山崎 孝広 (SCカヌー)
 - 2位 高沢 一二 (アールベルグ)
 - 3位 本間 康浩 (日立小田原)
 - 4位 橋川 昭治 (リバーベント)
 - 5位 穂積 大助 (川越レーシング)
 - 6位 石塚 俊逸 (三菱電機鎌倉)

- 「男子成年」
 - 1位 比留間 悟 (シヨウナンキッズ)
 - 2位 青柳 孝行 (横浜スポーツ一會)
 - 3位 岡田 慎之介 (シヨウナンキッズ)
 - 4位 渡辺 環 (浦島小)
 - 5位 金子進太郎 (シヨウナンキッズ)
 - 6位 山崎 孝広 (SCカヌー)
- 「女子成年」
 - 1位 山崎 孝広 (SCカヌー)
 - 2位 高沢 一二 (アールベルグ)
 - 3位 本間 康浩 (日立小田原)
 - 4位 橋川 昭治 (リバーベント)
 - 5位 穂積 大助 (川越レーシング)
 - 6位 石塚 俊逸 (三菱電機鎌倉)
- 「男子成年」
 - 1位 比留間 悟 (シヨウナンキッズ)
 - 2位 青柳 孝行 (横浜スポーツ一會)
 - 3位 岡田 慎之介 (シヨウナンキッズ)
 - 4位 渡辺 環 (浦島小)
 - 5位 金子進太郎 (シヨウナンキッズ)
 - 6位 山崎 孝広 (SCカヌー)
- 「女子成年」
 - 1位 山崎 孝広 (SCカヌー)
 - 2位 高沢 一二 (アールベルグ)
 - 3位 本間 康浩 (日立小田原)
 - 4位 橋川 昭治 (リバーベント)
 - 5位 穂積 大助 (川越レーシング)
 - 6位 石塚 俊逸 (三菱電機鎌倉)

平成17年度 A級検定員検定会 合格者

第1会場 (朝日川スキー場)

第2会場 (朝日川スキー場)

第3会場 (新赤倉スキー場)

第4会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第5会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第6会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第7会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第8会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第9会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第10会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第11会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第12会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第13会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第14会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第15会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第16会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第17会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第18会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第19会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第20会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第21会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第22会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第23会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第24会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第25会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第26会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第27会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第28会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第29会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第30会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第31会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第32会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第33会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第34会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第35会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第36会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第37会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第38会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第39会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第40会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第41会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第42会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第43会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第44会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第45会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第46会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第47会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第48会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第49会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第50会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第51会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第52会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第53会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第54会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第55会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第56会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第57会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第58会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第59会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第60会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第61会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第62会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第63会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第64会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第65会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第66会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第67会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第68会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第69会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第70会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第71会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第72会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第73会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第74会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第75会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第76会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第77会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第78会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第79会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第80会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第81会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第82会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第83会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第84会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第85会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第86会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第87会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第88会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第89会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第90会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第91会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第92会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第93会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第94会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第95会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第96会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第97会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第98会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第99会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

第100会場 (大T.O.Y.O.C.O.M.湘南スキー場)

編集後記

シーズンを終えてほんと
する間もなく、今号の編集
作業に追われていた広報委
員の皆さん、お疲れ様でした。
さて、新メンバーが、がん
ばつてるけど、ベテラン委
員達の顔が見えなくなった
のが少し寂しいなあ...

指導員会だより

幹事長 藤木 昇

指導員会存亡の危機

会長 水島 秀夫



今年度の雪上行事は皆様方の多大なご支援のもと、計画通りに終了することができました。厚くお礼を申し上げます。

さて、私が会長職に就任して一期2シーズンが経過致しました。就任に際し早期に時代の「風」を読みとり「ブランドデザイン」を策定することを掲げました。バブル崩壊後のスキー人口の減少や時代の変遷から新生指導員会21年の推移を検証しました。

日本スキー指導員会発足の引き金になったのは、1979年（S54年）第11回蔵王インター・スキー当時、SAJとSIAの関係がぎくしゃくしてSAJの危機のようなものが感じられた時に、全国の指導員が横の連絡をはかり、その力を結集してSAJのつかいか棒になろうとの発想でした。かくして指導員会は、SAJが必要と思っ

てもやり難いこと、やり得ない事があれば、「つかいか棒」である我々の力で協力する役割を担い、メリットを求め人々には時間をかけて具体策を提案してゆくことで組織を立ち上げたのでした。

具体的な問題点は、①SAJからの情報が不足 ②認定された資格者へのフォローが十分でない事に集約されました。①は近年のIT化によりそれなりに解決されましたが②については意見が分かれるところです。又、指導員会の組織形態についてもあいまいさを残しています。SAJの外郭団体と理解されている方や、完全な外部団体と認識されている方が混在しているのが現状です。県下に22協会中、指導員会が組織されている協会は4協会のみで、横浜、川崎などの大協会には指導員会が組織されていないのが現状です。

近年の状況は会員総数1580名（H16年）で年会費納入率58%（H17年）を推移しています。今年度の準指導員検定合格者（70名）の中で33名（47%）の方に新たに指導員会に加入していただきましたが、最大協会の横浜は32名合格の内、9名しか加入してもらえませんでした。

今年度は①会費徴収に工夫をこらし②指導員派遣先での積極的な営業活動③会員に割引リフト券の特典④指導員

バンクの拡充⑤指導法のティーチングセミナー開講⑥20周年記念誌の全員配布⑦ウィークデー活用のシルバー対象行事の企画など斬新な発想のもと組織改革に取り組んできました。しかし、十分に理解されない結果に終わっています。これらの結果を踏まえると、現

行事レポート

4月2日～3日にかけて車山高原で今シーズン最後の雪上行事の指導員会フェスティバルが開催されました。

約180名の方に参加いただき前夜祭・レース・表彰式と楽しいひと時を過ごしました。オフトレから始まり雪上まで、今シーズン指導員会の行事に参加していただきました皆さん、ありがとうございました。又来シーズンお会いしましょう。



● 神奈川スキー指導員会 ホームページのお知らせ

<http://sik.artsk.com/index.htm>です。

神奈川県スキー連盟のホームページのリンク集からもとれます。

行事の案内をはじめ大会リザルトや特別寄稿などをタイムリーに提供しています。是非アクセスしてください。

状の指導員会の役割は終焉にきているのではないかと考えざるをえません。時代にマッチした新しい指導員会像について皆様方のご意見を伺い、総会までに具体案を提言したく考えております。



● 指導員会からのお願い

今シーズンみごと準指導員に合格された皆さん、まだ入会手続きをされていない方、入会をお待ちしております。

SAKトツプ インタビュ

この5月で県連副会長6年目となる
古郡敬一さんにお話を伺った。



今シーズンは、出だしの雪不足でチャレンジカップ第1戦が中止になるなど、つまずきました。ふたを開けてみれば積雪量も多く、昨日までの環富士山技術選での日焼けがさめなくて真っ黒ですよ。五竜の会場をAコート、Bコートと行ったりきたりしていたので、焼けない方がおかしいか…。

環富士山の大会は、楽しいですよ。賞品授与では、山のように積まれた賞品がすぐく、静岡の司会者がなかなか面白い人で、大いに盛り上がりました。4県合同開催でしたが、選手・役員ともよくなじんでいて、いい雰囲気でした。

県連との出会い
スキーとの出会いは、大学3年の時のゼミの旅行で草津に行った時です。それまで、駅伝で6年間鍛えていたの

で、なんてことないと思って滑つてみたのですが、ちょっとした斜面を滑るだけで大変な思いをしたことを覚えています。そのころの貸しスキーというものは全くないし、まあ、たいしたしろものでしたね。

中学3年から登山をやっていたのですが、加入していたのが横須賀高校山岳部なんですね（僕は横須賀高校出身ではありません）。その顧問の先生が、横須賀スキー協会の前会長だった故渡辺先生だったんですよ。その関係から、横須賀スキークラブに入り、横須賀スキー協会にも入ることもなったんです。渡辺先生には、ずいぶんかわいがってもらい、昭和35年には県連にも入りました。それがスキーにのめりこむきっかけとなりました。

当時、理事会といったかどうか覚えていませんが、10人くらいの会合に出ました。そこにいたのが、松浦、丸山、黒川、三塚（現常務のお父さん）など錚々たるメンバーでした。

それから国体の役員としては、都合3回参加しています。1回目の鳴子国体は総務として行きました。2年目の赤倉国体と3年目の神鍋国体には、アルペンの監督として行きました。その頃は、ノルディックの選手とばかり付き合っていましたね。それが、今の私の財産になっています。今ではみんな

各市協の会長など役員を務めていて、いろいろな面で助けてくれるのです。現在の県連はすばらしい

現在の県連は専務、常務はもちろんのこと、理事の皆さんがすばらしいと思います。環富士山の大会でも、いつもは採点する側の理事が立場を換えて選手として大会に参加し、大会を大いに盛り上げてくれました。それを見て、感激屋の私はすぐに自分の所属クラブに反映させようと決意し、来年は5人の選手を参加させることに決めています。

また、駅伝大会に役員として呼ばれて行ったり、とてもいい雰囲気なので、理事会で報告するなど宣伝に努め、参加者を増やそうとしています。昨年は、教育本部と私のクラブの合同でバーベキューをして大いに盛り上がりました。相模原がとてもいい場所を提供してくれるので、うまく宣伝すれば、あと20チームは参加が増えるのではないかと思いますね。

今、競技本部行事の役員には、総務本部の理事が必ず入っている。4・5年前から始めたことですが、最初のうちは、なにかきこちなかったけれど、今はうまくいっています。行事では、コーチや役員が仲良くやっています。選手や参加者にそういう雰囲気があると伝わってしまうものです。昔、指導員会の役員をやっていたころ、会合が

終わるとみんなすく帰ってしまうので、これではいけないと思い、一杯会を作りました。人間、腹が減っているという考えが出ないもんですよ。だから、専務理事、常務理事は気遣いが大変だと思いますよ。

それから、専門委員がよくやってくれるようになったと感じています。理事が1人に専門委員10人くらいで行事をやっています。環富士山でも検定委員長は専門委員でした。理事もすぐ助かっていると思います。

スキーは楽しまなきゃ
また、県連内でも副会長3人でそれぞれ役割分担を決め、うまく機能していると思います。お互い電話等で連絡を取り合って、意思の疎通を図っています。

スキーは楽しまなきゃいけないと思います。講習会でも、楽しくやるということが大切です。その集大成が、環富士山の大会という感じだったと思います。いま、愛知が参加をしたいと思います。ささらに、いろいろな県が参加すると面白いですね。そんなことで、副会長として、大変いい思いをしています。

《インタビュアー》

広報委員長 守谷 紀幸
広報委員 川井 紀明